

本日は役員常議員の任期満了に伴い臨時議員総会を開催させて頂きましたところ、多数の方のご参加を賜りありがたく御礼を申し上げます。

特に次の3年間は従来に増して更に厳しい状況が予想されておりますので、十分にご審議を頂き安心と信頼を頂ける選任を特にお願ひ申し上げますと共に、私共を取り巻く近況を述べさせて頂きたいと存じます。

先ずデフレ、円高が大きく懸念されますが、このままですと今月後半あたりから70円台が心配され、1円下がると日本は1兆円の損失となると言われ、地方、中小企業への影響も大きいと思われま

す。そうした中で、この君津市は基幹産業であります君津製鐵所は今朝の『日経』ではかなり好調と伝えられております。

地場産業も「観光立市」を街活性化の柱として上総地区には地域交流センターが完成し、清和へも準備が進んでおります。

更に「産業振興条例」の設定をお願いして、市内の大型店、チェーン店、コンビニ等、外来未加入店に地元商工業者組織へと加入して、物心両面による街づくりへと参加協力する条令をと、他関係団体と申し入れを致しております。

首都圏凡そ4千万人を背景に極めて優れた大自然の景観を持つ「君津南房」へは2,500万人以上の入込人口があり、そのGDPは一人1万円と言われ、日本全国では数少ない恵まれた君津市であります。

会議所、行政は市民の豊かな生活を支援する事が目的であります。公的事業支援を待つのではなく、会員、商店会においては進んで判断、決心されてこのチャンスを是非活用して頂きたいと思ひます。

君津市は人口が減少しております。人口増こそが経済のエネルギーだとの声が聞かれますがその通りであります。小糸川南岸、常代から中富あたりは農村の美観を残した農村公園住宅団地とも言えるすばらしい空間があります。土地情勢を考えますと、今少し時間をかけてからの方が地権者にも得策かと思われま

す。やはり街には中心核が必要であります。

今朝の広報に見られるように、先ず君津駅北口の再構築を手始めに周辺の中央商店街の計画が進められております。この成否は会員の皆様が積極的にどう参加されるかであります。

めでたく無競争当選された鈴木市長さんが是非きみつのブランド商品を作って下さいと言われます。今「観光は食で攻めろ！」と言う一つの説があります。既に「小糸在来、名水、じねんじょ…」とブランド生産品があります。青年部の方々がこれらを生かしてお土産物に取り組んでおります。是非、知恵、技術を貸して下さい。

政治、経済、産業界で、世代交代をとの声が大きくなっておりますが、もっと大事な事は多くの後継者を育てて、交代ではなく引継ぎ、乗り越えてくれることでもあります。

無縁社会が広がっております。

商店会、業界は連帯感、絆をより大切にして、地元中小業界に無縁社会を作らない一層の努力を致す事をお約束してご挨拶とさせていただきます。